

第2期古賀市子ども・子育て支援事業計画（案）パブリック・コメント実施結果

第2期古賀市子ども・子育て支援事業計画（案）に対してパブリック・コメント手続きを実施した結果について、古賀市パブリック・コメント手続実施要綱（平成20年3月告示第20号）第11条第1項の規定に基づき、次のとおり公表します。

(1) 政策等の題名	第2期古賀市子ども・子育て支援事業計画（案）
(2) 政策等の案の公表日	令和元年12月12日（木）
(3) パブリック・コメント手続の実施期間	令和元年12月12日（木）から令和2年1月15日（水）（35日間）
(4) 意見等提出者数	2名
(5) 提出意見等件数	4件
(6) 提出意見等を考慮した結果及びその理由	下記のとおり

番号	該当項目	パブリック・コメント（ご意見）の内容	計画への反映	ご意見への回答
1	P37 小学生・ 中学生の アンケート	<p>②近所に話ができる大人がいるかどうかのアンケートの実施により、自己肯定感に相関関係があることに感銘を受けました。子ども会育成会を永くしてきましたが、子ども達の為にできる事は目の前のことだけなのかなという思いがありました。今回のアンケート結果で内面にも役に立っていたのかと嬉しく思いました。出来れば、近所に話ができる大人がどういう方々なのか分かると声をかける側も自信を持って話しかけれると思います。子ども会育成会関係・お隣さんなどの近所・他児童の保護者・区長役員の方々等。年々、自己肯定感のない子や何に対しても面倒くさいとやる気のない子が増えてきたと思います。でも、一対一で会話すると興味があることや悩み事を話してくれたりします。地域行事の時のちょっとした時間での会話でお互いコミュニケーションが取れていきます。今回基本目標5に子育てを支える地域づくりを掲げてくださったので、校区コミュニティを中心に、子ども達が大人になってももどってきたくなるような地域づくりに協力していきたいと思います。</p>	ご意見として承ります	<p>ご意見として承り、引き続き子どもたちが地域とつながりを持てる取組を推進してまいります。</p> <p>なお、近所に話ができる大人についてですが、ご意見を賜りましたように、子ども会育成会関係、お隣さんなどの近所の方々等、子どもたちが話しやすい大人であると考えております。</p>
2	P1～45 第1章 第2章	<p>現状と課題についての確にとらえられており、事業計画が基本理念に基づいて実行されることを期待しています。</p>	ご意見として承ります	<p>ご意見として承り、事業計画に基づいた施策を推進してまいります。</p>

3	P73 基本目標(2)	<p>変更→「子どもが地域の担い手となる体制づくり」を「子どもの主体性を育てる体制づくり」 削除→「さらに、子どもたちもまた～取組を推進していきます。」 ※地域の担い手という言葉に違和感があります。基本理念に沿った言葉を選んだ方が良く考えます。</p>	ご意見として承ります	<p>ご意見を賜りましたように、「子どもの主体性を育てる体制づくり」は非常に重要であり、第1期事業計画からの理念を継承していることから、各基本目標の随所に記載しているところです。第2期事業計画では、子どもの主体性を育む取組をさらに促進させたく、また、高校生ヒアリングや地域支援者ヒアリング等も踏まえ、新たに「子育てを支える地域づくり」を基本目標5に掲げました。「地域総ぐるみ」で子育て支援を推進していく中には、子どもも地域づくりの当事者として、大人と共に地域を創り上げていく存在であり、「地域の担い手」であると考えております。</p> <p>大人と共に地域を創り上げていく中で、子どもが生きる力を養い、自らの主体性を育むことにつながるのではないかと考えております。</p>
4	P88 第5章	<p>子育て短期支援事業について、平成30年度9日の現状に対し量の見込みが2日となっています。年によって利用日数の偏りがあることは織り込み済みと理解していますので、柔軟な対応を希望します。</p>	原案のとおり	<p>量の見込み及び確保方策は、国が示す方法にのっとり算出しています。柔軟に対応できるように体制を整えてまいります。</p>